



新年のごあいさつ

飛驒市長
都 竹 淳 也

新年あけましておめでとうござい
ます。日ごろより市政にお寄せいた
だいておりますご支援とご協力に對
し、心から感謝を申し上げます。

市長に就任してから初めての新年
を迎えたところですが、市政の舵取
りを行う立場となりまして、改めて
その責任の重さを痛感しております
。この10カ月間、私は市民の皆様
との意見交換会をはじめ、各種団体
の会議や意見交換会にお伺いし、ま
た移動市長室、提案箱でこの地域に
對する想い、市政に求めることなど
様々な声を聞かせていただきまし
た。これは現場主義をモットーとす
る私には大きな糧となっており、そ
れぞれの事業実現に向けて全力で取

り組んでいます。

さて、昨年、国勢調査の結果が発
表され、当市の人口は2万4千7百
人となっており、人口減少の流れが
進みつつあることが明らかになって
おります。こうした中で、飛驒市を
長く支えていくために、飛驒市が誇
る豊富な地域資源を活用し、また、
市民が広く活躍できる地域をつくる
ことが重要です。

私は、その目的を実現するため、
「元氣な飛驒市」、「あんな飛驒
市」、「誇りの持てる飛驒市」の三
つの観点で、市政を進めておりま
す。

中でも、昨年は、「元氣」という
点で、全国に注目される素晴らしい
出来事が相次いだ年でありました。

日本映画歴代2位という興行収入
を挙げている大ヒット映画「君の名
は。」では、飛驒市が重要な舞台の
一部となり、全国の若者が「聖地巡
礼」として当地を訪れています。さ
らに古川祭が全国33件の山・鉾・屋
台行事の一つとして「ユネスコ無形
文化遺産」に登録されました。一昨
年秋に、東京大学宇宙線研究所の梶
田隆章先生が神岡でのスーパーカミ
オカンデ研究によりノーベル物理学
賞を受賞されたことに続くこれらの
出来事は、飛驒市の名前を大きく全
国に知らしめただけでなく、飛驒市

民の誇りであり、発展の大きなチャ
ンスでもあります。

市では、これらのチャンスを生か
すべく、1月7日より全国巡回の
「君の名は。」展を飛驒市美術館で
開催するとともに、ラッピングバス
の運行などに取り組むこととしてお
ります。また、古川祭については、
岐阜県内の高山祭、大垣祭、さらに
は、富山県、石川県の山鉾屋台行事
と連携し、2月18日に伝統芸能イベ
ントを開催するとともに、広域観光
へとつながる取り組みを始める予定
です。また、スーパーカミオカンデ
研究などの成果を一年中見ていた
けるよう、道の駅宙ドーム・神岡を
改修して展示を整備する準備にも着
手しており、一層の観光誘客につな
げていきたいと考えております。

一方、「あんな飛驒市」づくり
に向けては、市内の介護従事者不足
に對應するため、新たな介護人材の
掘り起こしと介護職員の負担や在宅
で介護するご家族の負担を軽減する
ための様々な事業を始めました。ま
た、発達障がい児や学校等への適応
に困難をもつお子さんのために、児
童精神科の医師を誘致し診療所を開
設する取り組みも進めております。
さらに、救命救急の充実を図るた
め、これまで岐阜大学にお願いして
いたドクターヘリを富山大学から飛

ばしていただくことにより、患者の
輸送時間を大幅に短縮するととも
に、常時離発着が可能なヘリポート
を神岡町内に整備したところです。

さらに、「誇りの持てる飛驒市」づ
くりに向けては、市民の皆さまによ
る手作りのまちづくりの活動が活発
になっていきます。その動きをさらに
加速させていくため、今年度始めま
した「小さなまちづくり応援助成
金」、若い方々を中心に設立された
まちづくり協議会である「ひだプラ
す」、そして、参加型のまちづくり
プログラムを取り揃えた「飛驒市み
んなの博覧会」の開催を三点セット
として、市としても大いにバック
アップしてまいります。

今年も、市民の皆様方のご意見を
きめ細かく伺いながら、広く国内外
との交流を図りつつ、新たな施策を
どんどんと打ってまいります。市民
の皆さまには、どうぞふるさと飛驒
市に大いなる自信を持っていただ
き、今年も引き続き、飛驒市の発展
に向けてお力をお貸しいただければ
幸いです。

新しい年が皆様にとって幸多き年
となりますことを心よりご祈念申し
上げ、年頭のご挨拶といたします。



活気あふれる飛騨市へ

飛騨市議会議長

葛 谷 寛 徳

あけましておめでとうござい
ます。輝かしい新春をご家族お揃い
でお迎えのことと、心からお慶び申し
上げます。

年頭にあたり、市議会を代表し新
年のごあいさつを申し上げます。

市民の皆様には、日頃から議会運
営や議会活動に対し、温かいご支援
ご協力を賜り、心から感謝を申し上
げます。

昨年は、市長と市議会議員の同時
選挙が行われ、都竹新市長が誕生し、
議会は議員定数が14名となりました
が、その中でも7名が新人という新
しい議会がスタートしました。都竹
市長が掲げます「元気で、あんな、
誇りの持てるふるさと飛騨市」を目

指して、一步一歩前進しているこ
ろです。

今、飛騨市では、世界が注目する活
気あふれる、大きな出来事が続いて
います。まずひとつめは、何と言っ
ても「古川祭の起し太鼓と屋台行事」
が、ユネスコ無形文化遺産に登録さ
れたことです。2月にはお祝い行事
として、岐阜、富山、石川県の7市の
祭りの関係者が一堂に会する「飛騨
越能交流フェスティバル」が当市で
開催される予定であり地域の連携と
地元の活性化が大いに期待されま
す。

また、大ヒット中のアニメ映画「君
の名は。」は、海外92の国や地域で配
給されることとなり、劇中に飛騨古
川駅や、飛騨市図書館が描かれてお
り、多くの方が「聖地巡礼」に飛騨市
を訪れています。このチャンスに地
域の活性化に結び付けようと、様々
なタイアップ事業を行い、相乗効果
による観光誘客に力を入れていま
す。

神岡町にある研究施設では、小柴
昌俊先生に続き、梶田隆章先生が
ノーベル物理学賞を受賞されまし
た。更なるノーベル賞が期待される
「KAGRA」は、重力波の観測が今
年から本格的に始まります。また、世
界最先端の宇宙物理学研究施設を紹
介する施設整備が宙ドームで計画さ

れています。

年に4万人以上が訪れる「レール
マウンテンバイクガッタンゴー」の
生みの親である神岡・町づくりネッ
トワークは、日本観光振興協会の産
業観光まちづくり大賞の金賞に輝
き、新たに溪谷コース3kmの実現を
目指しています。

このように、今、飛騨市は大きく発
展するチャンスを得て、元気で活力
あるまちづくりを持続可能なものに
するため、積極的にきめ細かな政策
を進めております。都竹市長は「前
向きに動き続ける」市政を目指して
いますが、議会も全力でこれを支援
して参ります。

飛騨市にとって最重要課題であ
る、超少子高齢化に対応するため
は、人・物・お金・情報を積極的に
取り入れ、生産から消費までを市内
で循環させる仕組みを作らなければ
なりません。そのためには、観光振
興や介護、福祉に重点を置く政策を
推し進めて参ります。

今秋には、全国初の取り組みとし
て、自治体による児童精神科診療所
が古川町に開設されます。また、いつ
でも救急患者の転院搬送などができ
る、常設のヘリポートが神岡町に完
成しました。さらに、国道360号
の雨量規制区間で、最も難所であっ
た種蔵打保バイパス「成手トンネル」

が開通しました。これらのことは観
光、福祉事業の促進に大いに貢献す
るものです。農業の振興では、「全
国農業担い手サミットごぎふ」が開
催され、飛騨市も情報交流会があり
ました。TPPの発効が不透明にな
る中で、畜産をはじめ、稲作、夏秋ト
マトなどの担い手を育成して行くこ
とを重点的に取り組んで参ります。

議会では、飛騨市元職員の履歴に
関する事務手続の件で百条調査委員
会を設置し、3月末を目途に調査報
告をすることになっています。

また、議場の映像システムが整備
され、中継がより鮮明な画像となり、
再放送もされるようになりました。
今後さらに、信頼され、より身近な議
会の実現を目指し努力して参りま
す。

結びに、新しい年が市民の皆様
にとりまして、幸せで実り多い年とな
りますこと、議員一同、心よりご祈念
申し上げ、新年のごあいさつとい
たします。

